

# 福地先輩、一軍定着目指し、頑張れ!!

# 不退転

第134号  
東江中学校  
校長 神元 勉

## 県出身プロ野球選手と交流



福地投手(中央)を激励した同級生や父母ら11名(名護市・ライブハウス「T1 ES」)

## 「地元のスター」激励

### 名護 福地投手、1軍へ決意

沖縄タイムス 2017年2月23日

【名護】プロ野球DeNAのは「応援してもらって、こんな福地元春投手(26)の激励会が20日、出身地の名護市で初めて開かれた。東江小・中時代の少年野球仲間や父母約30人が集まり、「僕たちのスター」と活躍を願った。

宜野湾市で1軍キャンプに参加していた福地投手。「実はきょう2軍落ちしちゃいました」とあいさつを切り出すと、「頑張れ」「大丈夫」と温かい声援が飛んだ。

1軍定着がかかる3年目。「まだシーズンも始まっていない。死ぬ気で頑張つて、いい報告ができるようにしたい」と決意を語った。

父の安夫さん(51)、母の幸子さん(52)も参加した。安夫さん

本校出身のプロ野球DeNAの福地元春投手(26)は、入団3年目で1軍定着がかかる大事なシーズンを迎えます。キャンプで実力を思う存分アピールして、一日も早く一軍昇格が叶うよう、みんなで応援し、その頑張りを東江中の誇りにしたいものです。

激励会の発起人の一人、金城守さん(53)は福地投手の同級生の父。レプリカユニホームを着込んで司会を務めた。「久しぶりに野球の父母仲間会えたのも元春のおかげ。名護の後輩たちに夢を与える選手になってほしい」と期待を込めた。



絵心がある作品ですね ⑤

## ぼくも私も

### 生徒会活動に充実感

伊波 晃士=中3  
生徒会執行部の一員になった当時は、何をしていたかわからず、ただ集会に参加するだけの状態で、この調子でやっていけるのかと不安でした。しかし、初めての行事である新入生歓迎球技会に向けて、各委員会の協力を求めたり、盛り上げるための種目を考えたりしていくうちに、成功させようというみんなの気持ちを感じられました。それからの僕たちは、運動

沖縄タイムス 2017年2月23日

会や合唱コンクールという大きな行事も一致団結し、その時のテーマを学校全体で達成することができました。1年間ご指導してくださった先生、共に頑張ってきた執行部の仲間のおかげで、一つのことを成し遂げる喜び、感動、チームワークの大切さを教えてもらいました。これから引き継ぐ41代の生徒会の皆さんが、さらに東江中学校を盛り上げるリーダーとなることを期待しています。1年間ありがとうございました。(名護市、東江中)